

陳情文書表

【令和2年3月定例会議】

受理年月日	受理番号	提出者	付託委員会
令和2年2月25日	陳情第1号	小松島市神田瀬町3-5 学校再編このままで委員会 小林 勝代	文教厚生 常任委員会

(件名・要旨)

小松島市学校再編において実施計画早期成案化に反対する陳情書

【陳情の要旨】

令和元年10月、小松島市教育委員会から発表された『小松島市立学校再編実施計画(案)』において、同年12月に市民3,000人に対して行われた市民アンケート、令和2年2月に行われたパブリックコメントをもとに、計画では学校再編実施計画(案)が3月末にも成案になる。

しかし、令和元年10月16日から11月13日に小学校全11校で行われた小松島市学校再編に関わる地域住民説明会や個別説明会において、また、教育委員会が行った市民アンケート、議会が行ったタウンミーティングにおいても多数の不安や疑問、反対の意見が出た。

説明会では、「なぜ4校なのか」「通学路の安全対策は」「通学支援の基準は適正か」「震災を考えると適地なのか」などの意見が上がったが、教育委員会からは「これから検討します」「意見として承ります」などと回答する場面も多く、市民が納得できる説明が明らかに不足していた。これだけ多数の市民の反対の意見が上がったにも関わらず、議会、教育委員会では深く議論されることなく、また、今後の「実施計画」にどのように反映されるのかも、不明確なまま成案になろうとしている。

教育委員会は10月に実施計画(案)を発表し、予定通り翌年3月に成案という、わずか6か月での成案決定では、結論ありきのスケジュールと受け取られても仕方がない。

私どもは、早期に実施計画(案)を成案にすることなく、説明会での意見、アンケートの意見などを参考に、次世代を担う子どもたちのため、また住んで良かった小松島になるような再編計画にするためにも、議会、教育委員会に議論を深めることを望む陳情である。

【陳情事項】

小松島市議会、教育委員会は、小松島市立学校再編実施計画の早期成案化を行うことなく、議論を続けていただくことを求める。